

りんご園地におけるヒメボクトウ若齢幼虫の効果的な防除方法 (追補)

【1 成果の概要】

- (1) ヒメボクトウ成虫の羽化は6月下旬に始まり、8月下旬まで続きます。
- (2) フルベンジアミド水和剤（商品名：フェニックスフロアブル）は本種に対する防除効果が高く、残効期間が長いため、落花期にスピードスプレーヤーで1回散布すると、ヒメボクトウ幼虫がりんご樹体内に食入することを阻止することが可能となります。



図1 a: ヒメボクトウ若齢幼虫 b: 樹体内に食入した幼虫 c: 羽化後の蛹殻 d: 成虫

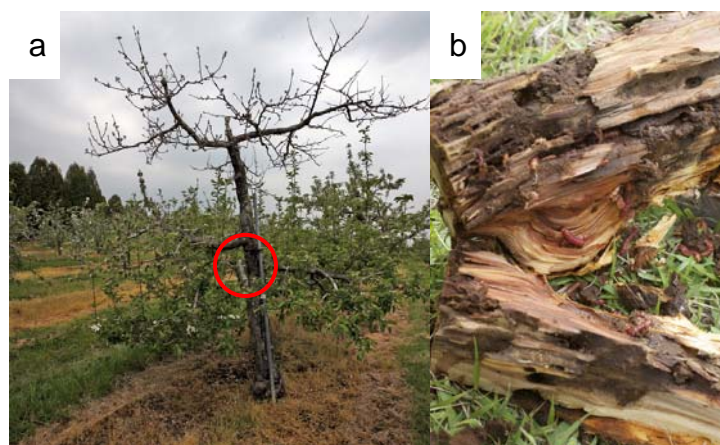


図2 a: ヒメボクトウ幼虫による被害樹。被害部(赤丸)から上部が枯死している。
b: 樹体内部の様子



図3 フェニックスフロアブル処理によるヒメボクトウ若齢幼虫の食入阻止効果（岩手県農業研究センターほ場での接種試験）

【2 留意事項】

- (1) この方法は、すでによりんご樹体内に食入した幼虫に対しては、効果は低くなります。
- (2) りんご樹体内に深く食入したヒメボクトウ幼虫に対しては、以下の対策が必要となります。
 - ア スタイナーネマ・カーポカプサエ剤（商品名：バイオセーフ）の樹幹注入
 - イ 被害部位の切除を実施し、園地内のヒメボクトウ密度を減らすこと